



〈本郷キャンパス〉  
学校法人文京学園  
文京学院大学経営学部・外国語学部・  
保健医療技術学部／大学院／文京学院  
大学生涯学習センター  
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1  
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816  
文京学院大学文京幼稚園  
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1  
☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉  
文京学院大学人間学部・保健医療技術学部  
／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園  
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196  
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉  
文京学院大学女子高等学校／文京学院  
大学女子中学校  
〒113-8667 文京区本駒込 6-18-3  
☎03-3946-5301

## 大学 文京区と本学

# 災害時相互協力協定を締結

本学は、文京区と「災害時における相互協力に関する協定書」を締結しました。これにより、大規模災害が発生した場合、本学は帰宅困難者の安全確保を目的に、本郷キャンパスの一部を一時避難施設として提供し、その管理・運営サポートを本学スタッフが行います。

6月23日、文京区と本学【文京区】成澤廣修区長、瀧康弘副区長、八木茂危機管理室長、橋本淳一総務部管理室長、橋本淳一総務部防災課長【本学】工藤秀樹学長、島田昌和理事長、竹内秀和統括ディレクター、



本学制作の「地震防災マニュアル」を手に(左から)成澤区長、工藤学長、島田理事長

時にも外国人の防災意識を高めることが重要と考へ、この3月、本学は外国人向け「地震防災マニュアル」(英語版・中国語版)を制作しました。

同マニュアルは、本学が推進するインフォグラフィック手法を取り入れ、地震を経験したことのない外国人が一目で理解できるように作られています。今後、文京区内の公共施設で配布する予定です。

## 第57回日本神経病理学会総会 学術研究会(6/13)「学生優秀ポスター賞」「学生発表賞」

### 外山咲紀子さん(保健医療技術学部臨床検査学科4年)、矢島佳奈さん(同)

青森県弘前市で開催された同学会(タイトル参照)で、病理学研究会の外山咲紀子さんが「学生優秀ポスター賞」と「学生発表賞」、矢島佳奈さんが「学生発表賞」を受賞しました。同学会

は脳神経科学・臨床神経医学・病理学が融合した医学学会で、総会学術研究会は年に一回開催。外山さんと矢島さんは、今年から新たに設けられた学生ポスター発表の部で、発表と質疑応答を行いま

した。「学生発表の中でも特に優れた発表」と評価された外山さんの発表は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)だけに出現する神経細胞内の微小な異常構造物を顕微鏡観察下に多数集め、その成分を質量分析で解析・同定したものです。また、矢島さんは、従来の数十倍の厚さがある顕微鏡標本で、目標構造物を立体的に染め出す技法を研究し、「極めて優れた発表」と評価されました。

本学大学院保健医療科学研究科の古谷信彦研究室に所属する二人は、米国ボストンで行われた「微生物学と抗菌薬および化学療法に関する国際学会」に出席。大谷さんは汚染手袋による医療従事者間の病原菌感染」についてのスライド

セッション、鈴木さんは緑膿菌の薬剤耐性株と感菌性の病原因子の比較」についてのポスターセッションが採択され、国際会議でそれらについて発表しました。二人は次のように考えています。

鈴木「国際学会は初の経験であり、期待と不安を胸に抱き今回の発表に臨みました。1万人以上が参加する学会であり、様々な国の方々から、自分の研究に対しての質問や意見をいた

だくことができました。今回の経験を生かし、今後の研究の発展に繋げていくと共に更なる自身の成長を目指していきたいと思えます。なお、大谷さんは学会会期中、現地記者会見にも臨みました。

国際学会でポスターセッション中の鈴木さん

## 大学・大学院 教員、学生、院生が国内外で大活躍!

### 公益社団法人において・かおり 環境協会「学術賞」(5/26)

### 人間学部心理学科 小林剛史学科長・教授



小峯会長に祝福される小林学科長右

小林学科長が受賞した「学術賞」は、においてに関する一連の論文、著作等、学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈されるものです。小林学科長は、嗅覚心理や生理学の分野で幅広い研究を行い、その成果を同協会の学会誌をはじめ、多くの国内外の論文誌等に発表を行うとともに、学生指導を含めた研究を行ってきた。また、考案した実験装置や手法等、嗅覚心理学

の研究方法の普及にも貢献したことが高く評価され、今回の受賞となりました。小林学科長は、次のように喜びを語りました。「これまで嗅覚に関する研究を地道に続けてきましたが、こうした形で研究の蓄積が評価されたことを大変うれしく思います。今後も、人間の化学感覚の研究を続けるとともに、本学での後進の教育にも全力を注いで参りたいと思います」

## 国際肩肘関節学会・セラピスト学会「最優秀ポスター賞」(5/18、5/20)

### 小林弘幸さん(保健医療科学研究科2年)

小林さんは大学院で、呼吸器や運動器疾患の理学療法を専門とする石田知行教授を共同演者として、「肩関節屈曲動作の肩甲骨の左右特性」と題したプレゼンテーションを行いました。その中で、胸郭には非対称性がパターン化されていて、

小林さんは、次のように抱負を語りました。「大変名誉ある賞をいただき、貴重な経験をさせていただきました。これも単に私一人の力ではなく、沢山の方のご指導をいただいたからです。この賞に恥じぬよう、今後も自分の

夢に向かい、自分らしく、ヒトの本質を解明できるような研究を行いたいと思います」

壇上で表彰される小林さん(左)

## 外国語学部学部長・牛江ゆき子



外国語学部は英語コミュニケーション学科一つで成り立ち、「英語力プラス専門性」を備えグローバル社会で活躍できる人間の育成をめざしますが、学生たちが4年間で身につける力や資質は実に多様です。TOEIC等の試験で高得点を挙げられることは望ましいことですが、TOEICで測れる英語力は英語力の一部に過ぎず、また、外国語学部で身につける力の二つは、英語を使って仕事をするといって華やかなイメージを抱かれないかもしれません。しかし、外国語である英語を学ぶ過程は地味なものです。単語や熟語、日本語と大きく異なる文の構造や文章の構成や背景にある文化や社会、歴史を学ぶには、素直さ、謙虚さ、努力を厭わな

人々とも意思の疎通を図る必要があります。学ぶべきことは多く、考えると気が遠くなるほどです。それでも諦めない意思の強さと、それを支える、多様なへの強い好奇心と寛容、柔軟性が求められます。英語に加え、第二外国語、IT活用力、教養、そして、国際ビジネス、国際文化、国際協力、英語教育のいずれかの分野の専門知識と能力も身につけます。さらに、プレゼン大会への参加や、さまざまな業種で就業体験をするインターンシップ(国内・海外)、アメリカ、イギリス、フランスで、各自のテーマについて調査を行う国際文化フィールドワーク、アジアの国々で人々との交流や、活動する団体や人々へのインタビュを行う国際協力フィールドワーク、中学や高校で教員アシスタントを経験する学校インターンシップ、必修の卒業論文執筆で、チームワークや行動力、コミュニケーション力、共感する力、問題解決力、論述力をつけます。

## Green Spirits 外国語学部で身につける力とは

学部で身につけたこれらの力や資質を基盤として、変化し多様化する社会で地球市民として自信を持って活躍してもらいたいというのが、学生たちの学びを支える、文化背景も、経歴も、専門分野も多様な外国語学部教員の共通の願いです。

# 4学部 今年も全国平均を上回る就職率

**大学特集** 細やかなサポートで高い就職率

本学教職員による細やかな指導を受けた平成 27 年度の卒業生もまた、企業人として通用する確かな力を身につけて、それぞれの進路に進みました。  
厚生労働省発表による全国の大学生の就職率は 97.3% (平成 28 年 4 月 1 日現在)。それに対して、本学 4 学部の卒業生は 98.4% を達成しました。結果分析は、各キャリアセンター長です。

**坂本修一** 本郷キャンパスキャリアセンター長



外国語学部に関しては航空関係、ホテル関係を中心としたサービス業、商社、メーカー、金融関係の総合職など幅広い分野に就職実績があり、経営学部に関しては様々な業界・職種に就職して、さまざまな業務に携わっています。また、デザインコースの学生は専門分野を活かしてデザイン、広告関係の企業にも実績を重ねています。

この数年の傾向として、学生時代に力を入れたことを面接で確認する企業が多くなっています。きちんと目標設定をして、困難を克服してチームワークを築き、どんな成果をあげたかが具体的に問われています。本郷キャリアセンターでは、教員組織のキャリア委員会と協力し、学内企業説明会、卒業生を招いての懇談会、筆記試験対策講座、業界研究会、営業実践講座、国内と海外でのインターシップ、卒業生支援プログラムなどの様々な取り組みを行っています。また、学生それぞれに担当スタッフを決めて、ゼミの担当教員と連携を図り、個別サポートを行っています。多くの学生の参加をお待ちしています。

**福井康三** ふじみ野キャンパスキャリアセンター長



ふじみ野キャンパスでは人間福祉学部が前年度に引き続き就職率 100%、保健医療技術学部 3 学科が 3 年連続就職率 100% を達成しました。各学科別就職先を見ますと、コミュニケーション系は社会学科、心理学科の主な就職先は一般企業の商業、金融、サービス、運輸・通信等になります。昨年度同様、就職者の半分以上が大手・中堅企業へ就職しましたが、今年度は地方自治体 (行政職、中学校教員等) への就職者が増えました。  
児童発達学科の就職先としては保育士、幼稚園教諭、小学校教諭ですが、今年度は保育士就職者の 57.8% が公立保育士として、また、就職者の 40% 以上が公務員として就職しました。

## 大学 本学の「学校インターンシップ」

### 13年の実績が注目される

文部科学相の諮問機関である「中央教育審議会 (中教審)」は昨年 10 月 19 日、「として認める卒業生を教員を担う大学生が継続的に小・中・高校の教育現場就業体験を積む「学校インターンシップ」を、平成 15 年に旧上福岡市、平成



体育の授業で高学年に接する並木さん

16年に旧大井町と「学生インターンシップ活用事業」に関する協定書を取り結び、授業の一環として「社会貢献実習」の名称で既に「学校インターンシップ」に取り組みしています。同市・町との合併によりふじみ野市になった現在も、同教育委員会と学校の協力を得て、取組が継続されています。  
ふじみ野就職課程センターの山田喜二特任教授と椎木裕特任准教授は、「学校インターンシップ」のメリットについて、次のように考えています。「教員実習は期間が短く、学習指導を中心にありますが、本学の「学校インターンシップ」は毎年 5 月から 12 月まで週 1 回、トータル 15 回ほど

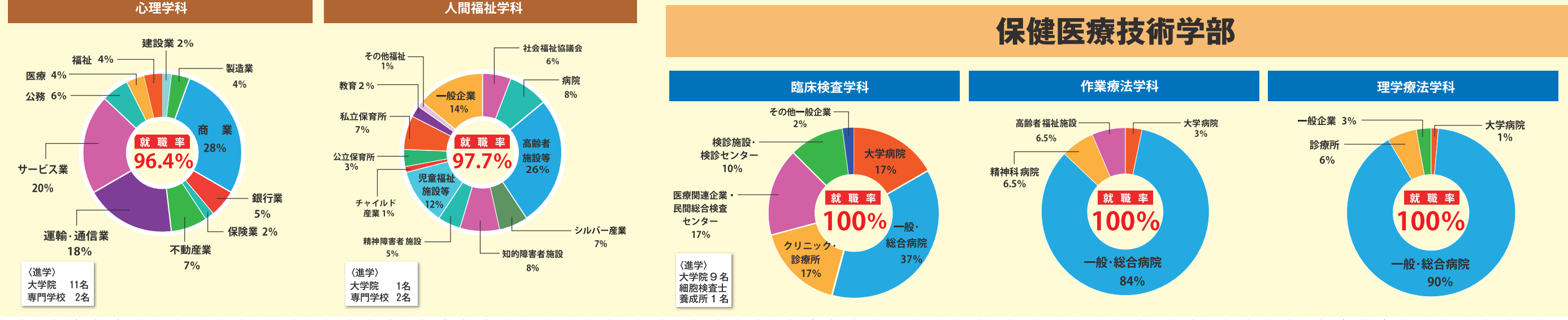
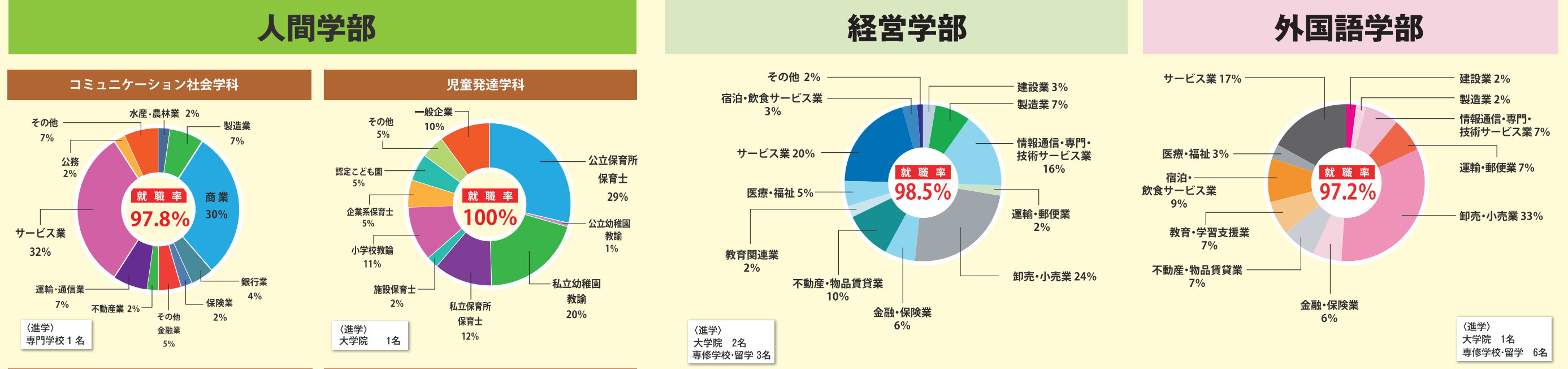
どの支援活動を行います。学習指導以外にも児童・生徒指導、部活指導、各種公務指導を幅広く体験することが可能です。子どもたちと触れ合う時間が多いことで「児童・生徒・教員の仕事への理解」が進み、インターンシップ生が自身の適性を考える時間も十分にあります。同体験は「教員になりたい」という思いを強め、その後「教育実習」に臨みます。この児童・生徒に接する際は、既に学校現場で体験しているため、深い課題を掘り下げ、充実した実習期間を送っています。  
今年度は、47 名が小学校 12 校、中学校 4 校に分け、同「学校インターンシップ」の一校、上野台小学校 (ふじみ野市福岡丁) で研鑽を積んでいる並木さん (児童発達学科 2 年) と濱田華歩さん (同) に、5 年生がどのように成長するのを知りたいため、インターンシップ終了後、また学校を伺いたいと思っています。」  
濱田「ぜひインターンシップを通じて、自分自身の強みや得意なことが、ぜひ活かせるようにしたいです。インターンシップを通じて、自分自身の強みや得意なことが、ぜひ活かせるようにしたいです。インターンシップを通じて、自分自身の強みや得意なことが、ぜひ活かせるようにしたいです。」



英単語を駆使して児童に寄り添う濱田さん

次の貴重なアドバイスをいただきました。「全ては現場にあります。学校現場の空気に触れることが大事であると思います。将来の自分をイメージするために、小・中学校

## 各学部卒業生就職先 業界別割合 平成 28 年 3 月卒業生就職内定率 (本学全体) 98.4% (全国平均 97.3%)



## 文京学院 文京キャンパス 中高 体育祭

中高体育祭が 6 月 7 日、代々木木本体育館で行われました。優勝旗返還後、佐藤孝孝統括校長が選手たちにエールを送り、会場から大きな拍手が沸き上がりました。クラシックスは、クラス対抗リレー決勝で、アラス選手たちが大活躍の力を振り絞って力走！今年度は、中・高 2 のフルブロックが優勝！代表が佐藤孝統括校長より優勝旗・賞状を授けられました。南部和彦中・高部校長が講師し、清水直樹等部部長が観覧席の 875 名の保護者に感謝の言葉を述べ、全学年による「障害物競走」・全学年による「ロープクライマー」など、以下、結果です。  
★レッドブロック (中 1・高 1) 2:35 点  
★ブルーブロック (中 2・高 2) 4:45 点  
★グリーンブロック (中 3・高 3) 3:65 点  
★高校 1 年栗組、2 年杉組、3 年松組

高校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)便り

エッグドロップコンテスト大盛況!

都内女子校で唯一、文部科学省からSSHの指定を受けている本校では、他SSH校を招き、楽しい科学イベントを主催しています。

高校生による「エッグドロップコンテスト2016」が6月11日、本郷キャンパスで開催されました。

A4ケント紙とセロテープのみを使用して、卵が割れないように保護する装置を作り、約5・3mの高さから地上に向けて卵を落下させ、審査員が破損の有無を判定。装置の重量・落下位置・卵を回収するまでの時間も審査対象として、装置の性能順位を決めるコンテストです。

参加校は、早稲田大学高等学院、都立科学技術高等学校、都立戸山高校、東京成徳大学中等高等学校、埼玉県立熊谷西高等学校と本校で、総勢152名、39班。本校からは、理数キャリアコース1年生81名が参加しました。



真剣な表情で卵保護装置作り



落下中の卵保護装置

祈る気持ちで「どうか割れないで!」

いって学んだ生徒たちは、S館コンソナホールへ移動し、いよいよ卵を保護する装置作りを開始。各学校とも数班に分かれて議論し、設計図を起こして90分で装置を完成させました。

そして、いよいよコンテストがスタート! D館2階の教室の窓から地上に設置されたものをめがけて、代表生徒が次々と卵保護装置を落下! 創意工夫を凝らしたヘリコプター型落下傘型、筒筒型は様々。下で待機する本校の岩川暢澄教諭から「全壊!」「無傷!」の音が響き、その都度、生徒たちから落胆や喜びのどよめき此起彼伏。理数クラス2年生14名、3年生3名も応援に駆けつけ、落下順番の確

認、割れた卵の処理、インタビューなど積極的にサポートしました。終了後は仁愛ホールに戻り、審査を待つ間に各校交流会を実施。壇上で装置についての解説あり、会場からは本校の文化祭PRありで楽しい会となりました。表彰式では、各賞入賞者が塩見教授より表彰状を授与されました。以下、結果です。

- ★1位 都立戸山高校2班
  - ★2位 都立戸山高校3班
  - ★3位 本校12班
- また、「生徒投票部門」では次の高校が入賞しました。
- ★エントリーシート賞 本校19班
  - ★クリエイティブ賞 東京成徳大学中等高等学校2班
  - ★ビューティフル賞 本校4班



中高 アンパン女子高校 来校 本校生徒と文化交流



民族舞踏を披露したアンパン女子校生



剣道部員に果敢に挑むアンパン女子校の生徒たち



約42,200mを完走した瞬間

大学 中津川リレーマラソン 「五街道ウォーク」委員が力走

「第1回清流木曾川中津川リレーマラソン大会(主催 同実行委員会)が5月29日、中津川運動公園(岐阜県中津川市)で開催。本学の「五街道ウォーク」実行委員会メンバーが力走しました。

2年に一度、学生実行委員会が企画・運営を行い、五街道を駅伝リレー方式で歩く「五街道ウォーク」は、今年の夏が開催時期。2年前の開催時に、中津川市役所、中京学院大学など現地の団体と強い絆を結んだ本学は、現地の方々と交流。「五街道ウォーク」のPR・下見を兼ねて同マラソン大会に以下のメンバーによるチームを組み、奮って参加しました。

【教職員】 関貴行准教授(保健医療技術学部) 小泉拓也職員(本郷キャリアセンター) 荻原道生職員(本郷入試広報センター) 【学生】 河原大智(外国語学部3年) 小川凌平(経営学部3年) 田口友章(同2年) 関口晃暉(同) 大内利紗(同) 早原里咲(外国語学部2年) 渡邊由佳

輝く卒業生

理学療法学科OB 鹿島アントラーズPT 堀敬裕さん

本学保健医療技術学部理学療法学科1期生の堀敬裕さんが、鹿島アントラーズでPT(フィジオセラピスト=理学療法士)として活躍中です。現在、堀さんは、同クラブハウスでリハビリを兼ねたトレーニングを継続してきた内田篤人選手(ドイツ・ブンデスリーガのシャルケ04)のサポートを担当。内田選手は、2015年6月に右膝膝蓋腱の手術を受けましたが、その後は痛みとの戦いで、2015-16年シーズンは欠場。堀さんは、内田選手が2年以上、痛い患部を動かしながら続けてきたトレーニングを見直し、痛くない方法を見つけてくれるところから着手。痛みがあると筋肉は、痛くない方向に逃げて弱くなってしまいうため、少しずつ鍛え直す方法を模索していきました。その方法が内田選手にフィットし、現在は順調な回復を見せています。当初は足を引きずりながらだったランニン

グも、今では痛みを感じることなく走る姿が見られているそうです。その様子は、「サッカー専門新聞 ELGOLAZO FLASH NEWS 6/10号」http://fn.elgolazo.jp/?date=2016-06-10&target=&all=1#2661と、「サッカー専門新聞 ELGOLAZOweb版BLOGOLA2016/5/2号」http://blogola.jp/p/64046に掲載されています。堀さんが在学中に指導を受けた保健医療技術学部の福井勉学部長・教授は、堀さんの活躍を次のように喜び、エールを送りました。「堀は人間味があり、同級生にも好かれていました。卒業後は地道に経験を積み、仕事を続けながらアスレティックトレーナーの資格を取った頑張り屋です。堀の活躍は、同級生や後輩にも勇気を与えています。また、私自身誇らしい気持ちにもなります。今後は堀が世界的に活躍することを期待しております」



表彰される文京学院生

様子は大学ホームページにてブログを公開中です。ぜひご覧ください!